



● 草の根協力支援型

2015年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	インドネシア
2. 事業名	ニアス島における伝統舞踊「Maena」を活用した防災教育事業
3. 事業の背景と 必要性	<p>本事業の対象地域であるニアス島はインドネシア国スマトラ島北西部沖に位置し、2004年12月のスマトラ沖地震大津波に続き、2005年3月に発生した地震においても大きな被害を受けた。島民には防災への関心はあるものの、行動変容をもたらすまでの十分な防災知識や情報が普及していない。それゆえ、島民が防災の知識を学び、普及させることが人命を災害から守るうえでは喫緊の課題である。</p> <p>近隣の島ではその島の伝統文化である口承文芸に防災の知識が盛り込まれ継承されてきた結果、2004年のスマトラ沖地震大津波での死者数が最小限に抑えられた事実がある。伝統文化を防災に活かすこの手法をニアス島にも取り入れ、次世代に引き継がれていく防災教育をカウンターパートやモデル校の教職員および父兄とともに確立することを目指している。</p>
4. プロジェクト目標	ニアス島内の小学校（モデル校）12校において児童、教職員、父兄を主体としたコミュニティ参加型の防災教育が確立する。
5. 対象地域	北スマトラ州ニアス島グナンシトリ市および南ニアス県
6. 本事業の 対象となる人々	ニアス島内の小学校（モデル校）12校における児童（約3700人）、教職員および児童の父兄
7. 事業活動と 期待される成果	<p>&lt;活動&gt; 各モデル校において以下を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災責任者の配置、指示系統、連絡網の整備、避難経路の決定、防災ワークショップの開催</li> <li>2. 伝統舞踊「Maena」を活用した防災教材（防災Maena）の創作と発表、地域恒例の地震追悼行事における「防災Maena」コンテストへの参加</li> <li>3. 「防災Maena」の創作過程記録を盛り込んだ防災ガイドランスの作成、対象地域官庁への伝統舞踊「Maena」を活用した防災教育の課外授業科目導入に係る提言</li> </ol> <p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校における防災体制が整備される。</li> <li>2. 伝統舞踊「Maena」を活用した防災教育が地域で認知され防災意識が向上している。</li> <li>3. 伝統舞踊「Maena」を活用した防災教育が継続的に実施されるための下地ができています。</li> </ol>
8. 実施期間	2016年8月～2018年11月（2年4ヵ月）
9. 事業費概算額	9,964千円
10. 事業の実施体制	提案団体のプロジェクトマネージャーが現地活動の指揮を執りカウンターパートであるローカルNGO「Obor Berkat Indonesia」（日本語では「インドネシアの希望の灯」の意）が現地のオペレーション全般の中心的役割を担う。本事業の実施に当たり対象地域の防災局および教育局も協賛に合意しており担当者も配置している。さらにインドネシア国家防災庁も本事業への理解を示しサポーターングレターを発行している。
<b>II. 提案団体の概要</b>	
1. 団体名	和光大学バンバンルディアント研究室
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災分野における地理情報システム、リモートセンシング技術の研究</li> <li>・ 国際協力活動（防災教育、日本語教育、マングローブ植林）</li> <li>・ 国際シンポジウムの開催、国際交流活動など</li> </ul>